HD-SDI

デジタルビデオレコーダー

NS-5041HDS

NS-5081HDS

取扱説明書

このたびは本商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。
製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

NSK
Create Security Life.

■より安全にお使いいただくために

1. お使いいただく前に「本取扱説明書」を十分にお読み下さい。
2. 「取扱説明書」は大切に保管して下さい。
3. 機器を清掃する場合は、かならず前もってコンセントからプラグを抜いて下さい。
   汚れたら液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないで乾いた布でふき取って下さい。
4. 弊社製品以外の付属品は、火災・感電・けがの恐れがあるため使用しないで下さい。
5. 機器を水の近くに（例えば：浴槽・洗面台・流し台・洗濯機・湿気の多い地下・プールなど）置いたり、そこで使用したりしないで下さい。
6. 不安定なカート・スタンド・机の上に機器を置かないで下さい。
   機器が落ちてケガをしたり、機器そのものに損傷をきたしたりすることがあります。
7. 電源は日本国内の商用周波数AC100V±10%をご使用ください。
8. 雷が発生している際や、長期間お使いにならない場合は、雷や送電線からのサージ（＝電流・電圧の瞬間的な過電流、過電圧）の侵入を避けるため、電源、映像線、その他の接続ケーブルを外して下さい。
9. コンセントや延長コードに過電流を流さないようにして下さい。火災や感電の恐れがあります。
10. 機器ケースを開けて内部の基板に接触させないで下さい。危険な電圧個所に触れることで、部品がショートして火事や感電につながる恐れがあります。
11. 機器をご自分で修理しないで下さい。修理・整備点検は専門のサービスマンに依頼願います。
12. 通気口を異物でふさがないでください。温度上昇によって火事につながる恐れがあります。
13. 次のような場合は速やかにプラグをコンセントから抜き、専門のサービスマンにご相談下さい。

A）電源コード及びプラグが損傷したとき。

B）機器の中に液体をこぼした場合また異物が中に入った場合。

C）機器が、雨や水に濡れた場合。

D）「取扱説明書」にしたがって作動させても正常に動作しない場合。不適切な調整は、機器に損傷を与えるばかりでなく、機器を正常動作に復元するために専門技術者による長時間にわたる作業が必要となる可能性があります。

E）機器を落としたり、カバーを損傷したりした場合。

F）機器の性能が著しく変化して、修理が必要になったとき。

14. 部品交換が必要になった場合、弊社の指定部品または同等性能部品かどうかを確認してご使用下さい。指定外の部品をご使用になると火災や感電等の恐れがあります。
15. 機器の修理や点検を受けたときは、専門のサービスマンに安全確認をしてもらい、適切な作動状態にあるか、正常な動作をしているかを確認してもらって下さい。
16. 設置は専門のサービスマンに任せ、運用にあたっては法律条令を確認して下さい。
17. 仕様書に明示されている動作温度環境内で運用して下さい。
18. ラック内等に設置すると、ラック内の温度は部屋の温度より高くなることがありますので、注意して下さい。
19. ラック内に設置する際は、安全に運用するため十分に空気の流れがあることが必要となります。
20. ラック内に設置した機器の上などに不必要に他の機器などを重ねて置いたりしないで下さい。
21. 備え付け電源への機器の接続の際、過電流保護回路、すでに供給されている電気配線へ負荷を与えすぎないよう気を付けて下さい。不明な時は機器に表示されている電気容量を参考にしてください。
22. ラック内に設置された機器は適切にアースがなされていることを確認して下さい。分岐回路へ直接接続する場合（例：電源ストリップを使用する）を除いては、電源の接続は特にご注意下さい。

注意：

●本製品は、監視防犯をはじめさまざまな映像を録画する事を目的とした装置ですが、すべての映像を監視する事を保障したものではありません。

機器の不具合によって映像が録画されていない場合、弊社および販売店では責任は一切負いません。あらかじめご了承願います。

●本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するのもではありません。

●本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いません。

●本製品の記録媒体に使用しておりますハードディスク（HDD）は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入り切り、停電からの復旧による突入電流などによる電気的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。作動時間が2万時間を超えた頃より書き込みエラーが発生しやすくなり、3万時間を超えると寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも機器周辺温度を20℃以下に保ち、１８，０００時間を目安にHDDを交換することをお勧めいたします。

●HDDの交換は、販売店もしくは弊社宛ご依頼願います。（有償となります）なお、HDDの交換や、機器修理の際、録画済みのHDDのデータは消去させていただきますのであらかじめご了承願います。

■主な特徴

このHD—HD-SDI（シリアルデジタルインターフェース）DVRは、ライブ映像・再生映像ともに720Pと1080Pの解像度でハイビジョンレベルのビデオ監視を提供します。

イーサネットケーブルで接続するネットワークIPカメラやネットワークレコーダーとは異なり、IT専門知識を必要とせず、同軸ケーブルで接続できます。

＊ H.264画像圧縮技術。

＊ 同軸ケーブル接続によるハイビジョン映像：画像の遅延やフレームロスなし。

＊ 録画フレームレート720Pの場合120fps、1080Pの場合60fps。

＊ HDMI、VGAおよびBNCビデオ出力。

＊ VGAおよびBNCプログラマブルスポットアウト。

＊ 最大 4 つの内部 SATA HDD（または 1 つの光ディスクと 2 つの HDD）、および外部ストレージ用 E-SATA。

＊ 録画＆ネットワークストリームの個々のチャンネルの設定（解像度/フレームレート）。

＊ イベントテキスト+画像を FTP サーバと E-mail アドレスへ通知する機能。

＊ 簡単ネットワーク：UPNP（ユニバーサルプラグ＆プレイ）をサポート。

＊ ユーザーコントロール：最大20ユーザーを、さまざまなアクセス権限を持たすことができます。

＊ カレンダー/時刻検索。

＊ マルチサイトモニタリングのためのCMS機能。

＊ 様々なブラウザ（IE、Safari、Firefoxなど）を介してWebビューの監視。

＊ スマートフォンのアプリケーション（ライブ、PTZ、検索）。

目次

より安全にお使いいただくために ……2
主な特徴 ……3

1. 製品概要
1.1 製品の内容物のチェック ……6
1.2 DVRの前面 ……7
1.3 DVRの背面 ……7

2. 製品のインストール
2.1 HDDの取り付け ……9
2.2 カメラとオーディオ機器を接続する ……9
2.3 モニターの接続 ……10
2.4 オプションの機器を接続する ……10
2.5 ネットワークへの接続 ……11
2.6 電源を接続する ……11

3. DVRの制御
3.1 操作用リモコン – 基本説明 ……11
3.2 操作用リモコン – 詳細説明 ……12
3.2.1 フルスクリーンモード ……12
3.2.2 四分割画面モード……12
3.2.3 OSDの表示/非表示 ……12
3.2.4 シーケンスモード ……13
3.2.5 デジタルズーム ……13
3.3 マウス ……13
3.3.1 画面モードを変更する ……13

4. 操作方法
4.1 電源をONにする ……14
4.2 初期画面 ……14
4.3 画面レイアウト ……14
4.3.1 ライブ表示モードでのアイコン ……15
4.3.2 ボタンを使って再生する ……15

5. メニュー
5.1 メニューの表示 ……16
5.1.1 セットアップメニュー ……17
5.2 セットアップ ……17
5.2.1 ディスプレイ ……17
5.2.2 カメラ ……18
5.2.3 録画 ……20
5.2.4 イベント ……22
5.2.5 HDD管理 ……27
5.2.6 ネットワーク ……29
5.2.7 システム ……32
5.3 検索 ……38
5.3.1 時間検索 ……38
5.3.2 イベント検索……39

5.3.3 検索モード ……39
5.4 その他の機能 ……39
5.4.1 PTZの設定……39
5.4.2 オーディオ ……40
5.4.3 バックアップ ……40
5.4.4 ログの表示 ……41
5.5 OSDをオフにする ……41
5.6 録画……41
5.7 ログアウト ……42
製品仕様 ……42
製品仕様 ……43
保証書 ……44

1. 製品概要

1.1 製品の内容物のチェック

製品の箱を最初に開いた時は、次のすべての内容物があるかチェックしてください。
これらの内容物のいずれかが欠落または破損している場合、製品を使用する前に直ちに購入元にお問い合わせ下さい。

DVR

リモコンおよびバッテリー

電源アダプター

ソフトウェア/ユーザーマニュアルCD

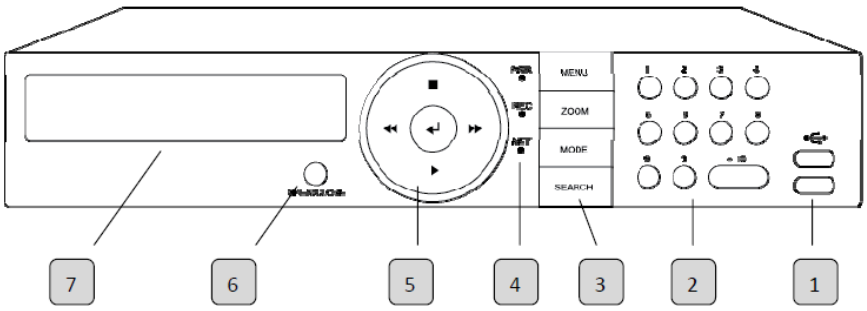
電源ケーブル

HDDネジ

ユーザーマニュアル

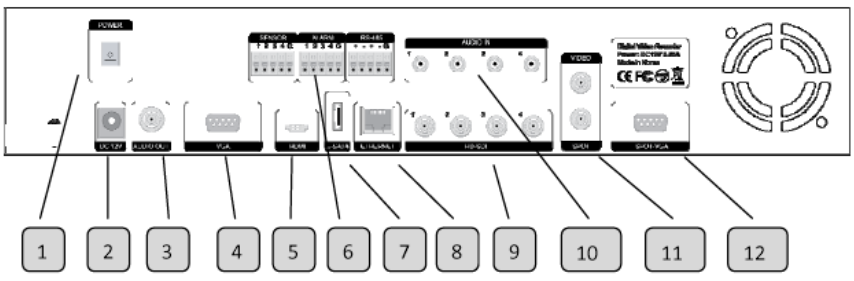
HDDケーブル[セットに含まれています]

1.2 DVRの前面



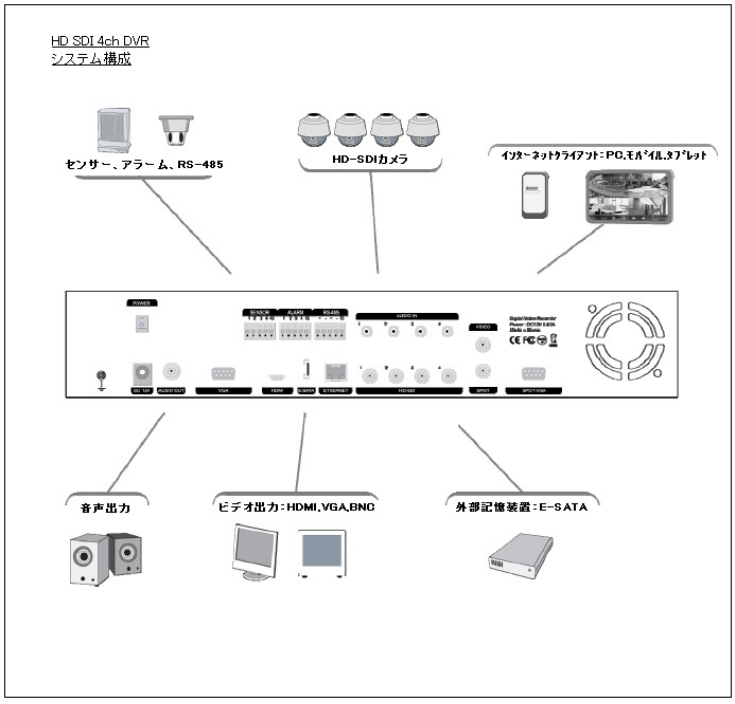
番号	名称	機能
1	USBポート	USBデバイスを2つのポートへ接続することができます
2	チャンネル	特定のチャンネルを選択する時、またはメニューで数字を入力する時に番号を選択します
3	Menu	メインメニューを呼び出します
	Zoom	デジタルズームモードになります(ライブ映像時および再生時)
	Mode	画面が分割表示になります
	Search	検索モードになります
4	LED表示	PWR:電源がONの時点灯します REC:DVRが録画中の時点灯します NET:ユーザーがネットワーク経由で接続している時点灯します
5	方向キーおよび選択キー	メニューで方向を選択します 再生、FF(早送り)、RW(巻き戻し)、停止/一時停止ボタン
6	DVDの挿入/取出ボタン	DVDの挿入/取り出す時のボタン （オプション）
7	DVDの挿入/取出口	DVDの挿入/取出口（オプション）

1.3 DVRの背面



番号	名称	機能
1	電源スイッチ	製品の電源のON/OFF
2	DC 12V	電源アダプターの接続
3	音声出力	スピーカーのような音声出力装置の接続
4	VGA	VGA接続のポート
5	HDMI	HDMI接続のポート
6	センサー	センサー入力のポート
	アラーム	アラーム出力のポート
	RS-485	RS-485通信 (TRX+, TRX-,T RX+,T RX-)
7	E-SATA	E-SATAのポート
8	イーサネット	10/100MBまたは1GB LANポート
9	HD SDI	HD SDIビデオ入力
10	音声入力	マイクのような音声入力装置の接続
11	ビデオ出力	コンポジットビデオ出力(BNCタイプ)
	スポット(BNC)	スポット出力(BNCタイプ)
12	スポットVGA	スポット出力(VGAタイプ)

2. 製品のインストール

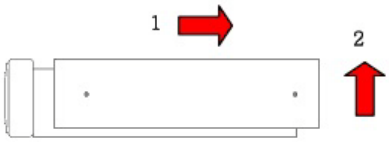


2.1. HDDの取り付け

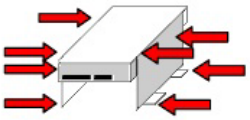
■標準2TBのHDDが搭載されています。
■最大4個のHDD（最大8TB）を製品内部に取り付けることができます。
■HDDを増設する場合、次のようにHDDを取り付けてください。
■オプションでDVD-RWも取り付けることができます。予め弊社までご相談ください。
■製品の金属部や縁などで怪我をしないよう気をつけてください。

(1)両側のネジを緩め、後ろに製品のカバーを外します。

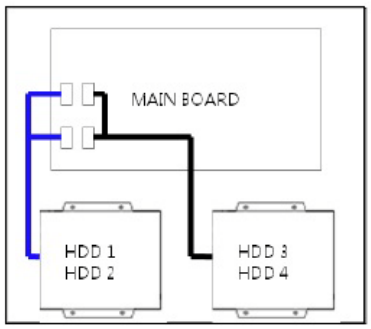
(2)トップカバーの端を持ち上げてから引き抜きます。



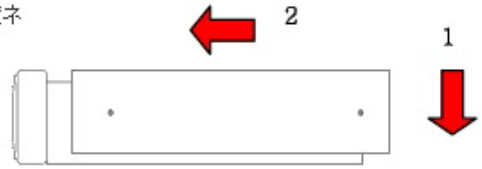
(3)HDDブラケットのネジを緩めて外します。
HDDブラケットにHDDを設置し、付属の4個のHDDネジを締め付けます。



(4)HDDブラケットをDVRに戻し、HDD電源ケーブルとデータケーブルをHDDに接続します。

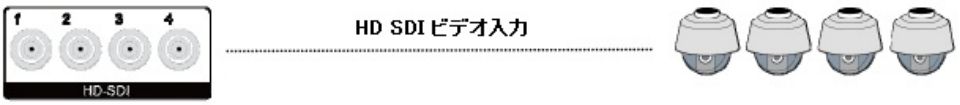


(5)図のようにトップカバーを挿入します。そして再度ネジを締めます。



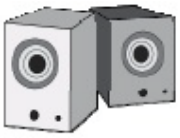
2.2.カメラとオーディオ機器を接続する

■同軸ケーブル（BNCタイプ）を製品の背面にあるポートのVIDEO INに接続します。
■HD SDIケーブル仕様：SMPTE 292M標準、5C-HFBT以上
■製品の背面にあるポートのAUDIO INにマイクからのRCAケーブルを接続します。
■RCAケーブルを製品の背面にあるポートのAUDIO OUTとオーディオデバイスに接続します



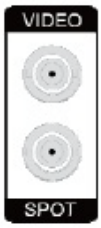
音声入力

音声出力



2.3. モニターの接続

■インタフェースに従ってモニターを製品のビデオ出力ポートへ接続します。



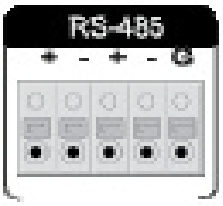
ビデオ出力(BNC)
1xビデオ出力,1xスポット

VGA出力
1xビデオ出力、1xスポット

1xHDMI出力

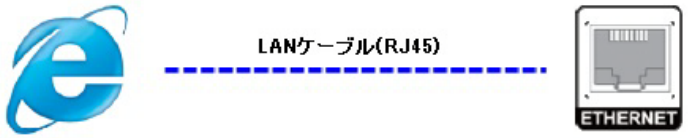
2.4. オプションの機器を接続する

■RS-485通信をサポートするPTZデバイスを接続し制御することができます。



2.5. ネットワークへの接続

■製品の背面にあるイーサネットポートにLANケーブル（RJ45）を接続します。



2.6. 電源を接続する

■電源ケーブルをAC-DCアダプタに接続します。
■アダプタを製品の背面にあるDC電源ポートに接続します。
■AC電源プラグをプラグソケットに接続します。

3.DVRの制御

3.1.操作用リモコン － 基本説明

3.2. 操作用リモコン – 詳細説明

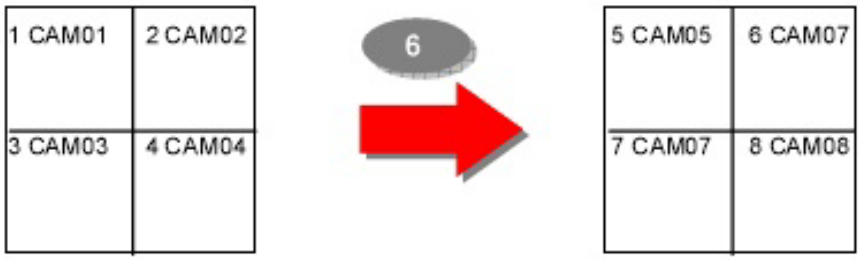
3.2.1. フルスクリーンモード

- □ボタンを押します。□ボタンを押すたびに、画面は次の画面に進みます。
- リモコンの数字ボタンを押してください。

3.2.2. 四分割画面モード(4分割モード)

- 四分割画面モードにするには、 ⊞ 四分割モードボタンを押します。
- ボタンを押すたびに、画面は次の四分割画面に移動します。
- 現在表示されているチャンネルのリモコンの数字キーを押すと、選択したチャンネルが、フルスクリーンモードで表示されます。
- 現在表示されているチャンネル以外のリモコン数字キーを押した場合は、選択したチャンネルを含む四分割画面が表示されます。

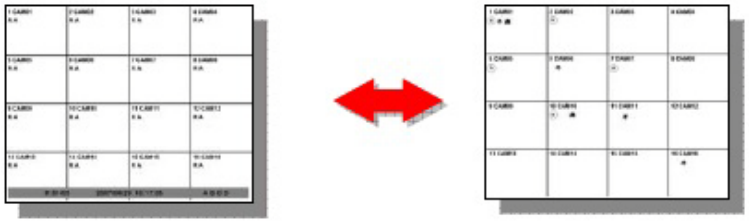
例えば、現在表示しているチャンネルがCH1～CH4の時に6ボタンを押すと、CH5～CH8が表示されます。



3.2.3. OSDの表示/非表示

- OSDの表示/非表示を切り替えるにはリモコンのOSDボタンを押します。

- SETUPメニュー[SETUP→DISPLAY→OSD]でのみステータスバーを非表示に設定することができます。



→ DVRに対してコマンドがない場合、ステータスバーは表示されません。
いずれかのボタンを押すか、マウスでクリックすると、ステータスバーが再び表示されます。

3.2.4. シーケンスモード

- フルスクリーンモードまたは四分割画面モードの場合はSEQボタンを押すと、画面は自動的に切り替わっていきます。
- チャンネルの変更間隔のデフォルト値（初期値）は2または3秒です。
- 1秒から99秒までの値へ変更間隔を選択することができます。
- 表示したいチャンネルを選択できます。

3.2.5. デジタルズーム

■DVRは10倍のデジタルズームをサポートしています。
■リモコンのズームボタンまたはズームアイコン　を選択してください。
■マウスを使用して、画像を拡大するために、特定のエリアをドラッグしてください。
■デジタルズームモードに無効にするには、マウスを右クリックしてください。

ノーマルモード　　デジタルズームモードx10

3.3. マウス

■システムはUSBマウスをサポートしています。
■USBマウスをDVRに挿入するだけで、DVRが自動的に検出します。
■USBマウスが正しく動作しない場合は購入先にお問い合わせください。

3.3.1. 画面モードを変更する

ライブモードで右クリックすると、メインメニューを表示することができます。メニューの項目を選択するにはマウスを左クリックしてください。

●特定のチャネル上でダブルクリックすると、画面がフルスクリーンモードに変更します。
フルスクリーンモードでダブルクリックすると、画面が前のモードに戻ります。

4. 操作方法

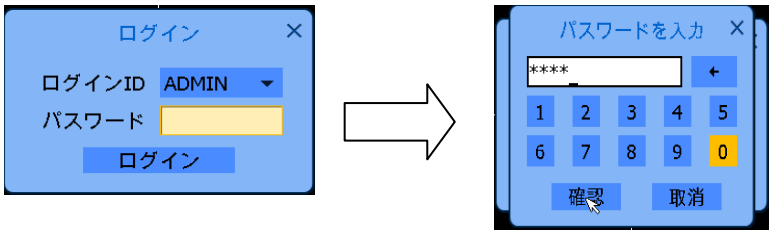
DVRをご使用になる前に、最初にHDDが取り付けられていることをご確認ください。

4.1. 電源をオンにする

■付属の電源アダプタを電源のDC端子に接続します。
■製品の背面のスイッチボタンのONを押します。

4.2. 初期画面

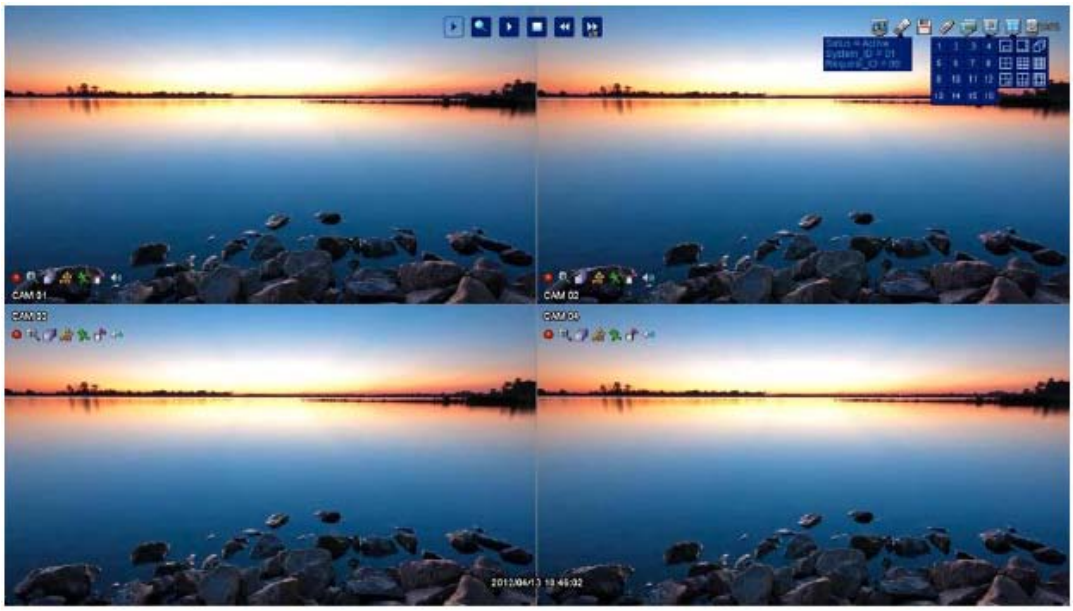
DVRの起動後にログインウインドウがポップアップされます。



マウスまたはリモコンのUPキー/DOWNキーでパスワードウインドウにポインタを移動させてください。
そしてリモコンのENTERキーを押すか、マウスの右ボタンを押してください。
最初にDVRを起動した場合、初期パスワードは ″0000″（ゼロ4つ）です。最初のログイン後、パスワードを変更することをお勧めします。パスワードを変更するためには、『5．2．7．4．ユーザー管理』を参照してください。

4.3. 画面レイアウト

選択した機能に応じて以下の項目が表示されます。



4.3.1. ライブ表示モードでのアイコン

ライブ表示モードでは、アイコンがシステムモードまたはステータスを通知するために表示されます。
以下は、アイコンのカテゴリです。これらはモニターに表示されます

システムアイコン		各チャンネル毎のアイコン	
	全画面にするには特定の1CHを選択してください		モーションが検知された時
	画面分割モード		センサーが働いているとき
	クワッドスクリーンモード		オーディオが接続されています
	HDDの使用状況		PTZモードに入っています
	USBメモリースティクとHDDがDVRに取り付けられている時		チャンネルが録画されています
	DVRがネットワーク接続されている時		
	DVRがネットワーク接続されていない時		
	リモコンのシステムID		
	外部USB、HDD(状態、容量)による自動バックアップの確認		
フルスクリーンモードでのアイコン			
	チャンネルのシーケンシャルモード		
	デジタル10倍ズーム		

4.3.2. ボタンを使って再生する

検索モードでは、様々なアイコンが画面の上側に表示されます。そして、ボタンを使って再生することができます。(リモコンのSeachボタン，本体のSeachボタン、マウスの右クリック)

	現在の状態表示	- このアイコンは再生中における現在の状態を表示します。 - ▶ を選択すれば ▶ にマークが変更します。 - このマークは別のボタンを選択すると変わります。 例)FF(早送り)を選択すると、▶▶ が表示されます。
	巻き戻り	- 巻き戻しと速度(x2、x4、x8、x32、x128)を選択してください。 - 一時停止の状態では、このボタンを押すとフレーム毎に巻き戻します。
	再生	- 再生ボタン 一時停止モードでこのボタンを選択してください。
	一時停止	- 一時停止ボタン 再生、巻き戻し、早送りモードでこのボタンを選択してください。
	早送り	- 早送りと速度(x2、x4、x8、x32、x128)を選択してください。 - 一時停止の状態では、このボタンを押すとフレーム毎に早送りします。
	停止	再生を終了し、ライブ映像に変更します。 メニューボタンでも再生を停止できます。
	検索	- このボタンをクリックすると、検索のサブメニューがポップアップします。
	デジタルズーム	- デジタルズームボタンは再生中に使用できます。1CHのフルスクリーンモードにする時 このボタンを選択してください。
	巻き戻し/早送り速度	- 巻き戻し/早送りの速度を指定します。

5. メニュー

5.1. メニューの表示

DVRの前面にあるメニューボタン、リモコンのメニューボタンまたはマウスの右クリックを使用してメニューを表示してください。

メインメニューを表示する前に、DVRはログインIDとパスワードを要求します。
初めてDVRを起動した時は、ログインIDとしてADMIN、パスワード“0000“ を入力してください。

5.1.1. セットアップメニュー

ディスプレイ	カメラ	録画	イベント	HDD管理	システム
表示	基本設定	録画設定	モーション	HDDフォーマット	Config
画面切替	PTZ	スケジュール	センサー	HDDスマート	ファイル管理
（フル画面）	プリセット	その他	ビデオロス	自動バックアップ	時刻管理
	スキャンポイント		E-メール	ネットワーク	システムID/キーボード
			FTP	設定	使用者
			E-メールスケジュール	ストリーミング	アップグレード
			アラームスケジュール	DDNS	システム電源OFF
			FTPスケジュール		
			その他		

5.2. セットアップ

ディスプレイ、カメラ、録画、イベント、ストレージ、ネットワーク、システムに関する設定項目はセットアップメニューで設定することができます。

5.2.1. ディスプレイ

OSDに関連した構成は、OSD表示メニューで行うことができます。
メインおよびスポットモニターのシーケンスパターンは画面切替（フル画面）メニューでプログラムすることができます。

5.2.1.1. OSD

モニターに表示するOSDの項目を選択し言語を選択してください。

■カメラ名 – 画面にカメラ名を表示
■CH（チャンネル）番号 – 画面にカメラ番号を表示
■CH画面の境界 – チャンネルの境界を表示
■言語 – OSDの言語を選択
■OSD非表示
オプション：『全体』、『タイムバー』、『アイコン』
自動非表示
タイムアウト(分)後に自動的に『全体』、『タイムバー』、『アイコン』を非表示にする。

5.2.1.2. ライブ-シーケンシャル　画面切替(フル画面)

■**ライブ画面切替**
　:シーケンスチャネルとビデオ出力時間(秒単位)の設定
■**スポット画面切替**
　:シーケンスチャネルとスポット出力時間(秒単位)の設定
■**初期値**:初期値に戻る
■**全体適用**:すべてのチャネルで同じ時間を適用します。
■最大時間は99秒です

5.2. 2. カメラ

カメラの名前、カラー、音声、カメラ映像表示の有無のような一般的なカメラの設定を行うことができます。
特定のカメラのプライベートゾーンを指定することができます。
PTZの設定(プリセット・ツアー)を行うことができます。

5.2.2.1. 基本設定

■**名前**:仮想キーボードを使用して各カメラの名前を入力してください。英字で最大15桁を使用することができます。
■**非表示(映像表示の有無)**:ライブモードでカメラのイメージを表示または非表示にします
　ON:非表示、OFF:表示
■**音声**:接続された音声チャンネルを選択してください

仮想キーボードの使い方
テキスト入力ボックスでの文字または数字の入力方法
■名前ボックス(ブランク)にポインタを移動しクリックしてください。
■方向ボタンで文字または数字をクリックします。
■入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックします。

5.2.2.2. プライベートゾーン

プライベートゾーンはカメラビデオ上にモザイクで表示されます。プライベートゾーンは再生中もモザイクで表示されます。

■プライベートゾーンを設定したいチャンネルを選択してください。

■プライバシーのためのスポットを選択してください。

5.2.2.3. PTZ

■**ID**： PTZカメラのIDを入力してください。

■**プロトコル**： PTZカメラのプロトコルを選択してください。

■**ボーレート**：PTZカメラのボーレートを選択してください。

この情報はPTZカメラのマニュアルをご覧ください。

5.2.2.4. プリセット

■**カメラ**： プリセットポジションをセットアップするカメラを選択してください。

■**ページ**： 次のページを表示します。

■**リセット**： 保存されたプリセットをすべてキャンセルします。

① カメラを選択します。

② ″指定″ボタンを選択します。

③ カメラのPTZ制御画面が表示されます。希望するポイントにパン、チルト、ズームイン/アウトをおこないます。

④ 画面左下のアドバンスアイコンをクリックするか、リモコンのENTERキー押して保存してください。

⑤ キャンセルするにはマウスで画面上の任意の他の位置をクリックするか、MENUキーを押してください。

設定をキャンセルしたい場合は、消去するチャンネルの削除アイコンをクリックしてください。

″すべてクリア″ボタンをクリックすると、すべてのチャネルの値がクリアされます。

◆注:この機能を使用する前に、カメラがプリセットをサポートしていることを確認してください。
合計64個のプリセットポイントを、各チャンネルに保存することができます。
保存された各プリセットポジションにポジション名を入力することができます。

5.2.2.5. ツアーリンク

■**カメラ**: スキャンポイントを設定するカメラを選択してください。
■**リスト**: 別のスキャンリストを作成
■**プリセット**: 希望するプリセットポジションを選択
■**すべてクリア**: 保存されているすべてのスキャンポイントのキャンセル

◆注: スキャンポイントメニューで、保存したプリセットポジションを使用してPTZツアールート(スキャンリスト)を設定することができます。各カメラにつき4つのスキャンリストを作成できます。スキャンリストを設定する前に、PTZプロトコルとプリセットを設定する必要があります。
最大4スキャンリストが設定でき、1スキャンリストは、16プリセットポイントまで構成することができます

例
スキャンポイントが左のように設定されている場合
■ カメラ1は、以下のように保存位置に移動します
■ PTZ04(3秒留まる)>> PTZ12(3秒留まる)>>
PTZ04(3秒留まる)>> PTZ12(3秒留まる)>>
PTZ04(3秒留まる)>>.....

5.2.3. 録画

録画設定、スケジュール、プリレコーディング/ポストレコーディングの設定は、録画メニューで行うことができます。

5.2.3.1. 録画設定

■ 録画解像度

CAMERA INPUT	RESOLUTION
720P	1280 X 720
1080P	1920 X 1080

■ **解像度**:記録される画素数(画像のサイズ)
■ **イベント(録画速度)**
- イベント発生時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
- イベント発生時とは、モーションが検出された場合やアラームが発生したことを意味します。
- 各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。

■ **連続録画(速度)**
- 連続記録時の録画の画質およびフレームレートを選択します。
- 各チャンネルには個別に画質とフレームレートを設定することができます。
- 連続録画のフレームレートはイベントモードのフレームレートを超えることはできません。

イベントのフレームレートを8として設定した場合、連続録画モードのフレームレートは、8を超えることはできません。

■ **全体**
すべてのチャンネルに同じ画質とフレームレートを適用します。

◆注:<u>録画解像度がHD SDIカメラの入力によって自動的に決定され、その後変更することはできません。</u>
◆注:<u>高画質の録画にはHDDドライブに広い空き容量が必要です。</u>

録画の画質	映像の画質	必要なディスク容量
基本	低い	最小
普通	相当	中間
高	良好	大きい
最高	優れる	最大

5.2.3.2. スケジュール
DVRはスケジュールに応じて録画します。録画スケジュールを設定することを確認してください。

■ **録画中止**: 録画しません、選択された時間内モニターします。
■ **連続録画**: DVRは選択された時間内連続して録画します。
■ **イベント録画**: DVRはモーション/センサー/ビデオロスが、選択した時間の間に発生した場合に録画します。

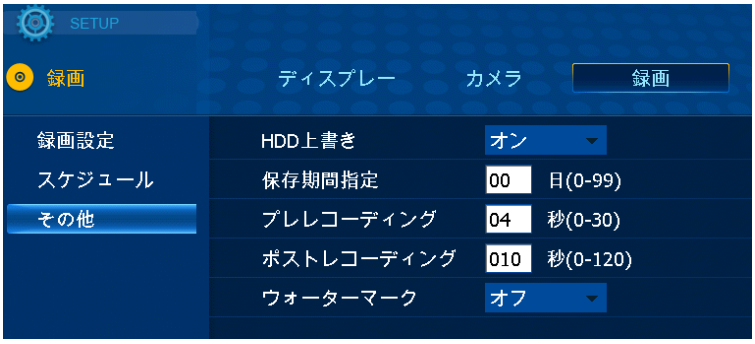
■ **連続録画+イベント録画**： DVRは連続録画またはイベント録画を選択された時間内におこないます。

イベントがない場合は、連続モードでビデオを録画します。
イベントがある場合は、設定したイベントモードでビデオを録画します。

マウスを使用している場合は、ドラッグにより選択することができます。

◆注：録画スケジュールは時間単位で設定することができます。
各行の最初の列の時刻は　00:00～00:59　を意味します。

5.2.3.3. その他



■**上書き**：HDDがいっぱいになると、最も古い録画データが消去され、新しいデータ（上書き）に置き換えられます。
ON：上書きします、OFF：上書きしません
OFFに設定されている場合はHDDがいっぱいになったとき、DVRは録画を停止します。

■**保存期間**：現在時刻より前の選択された日数のデータのみを保存します。
デフォルト値″00″により、この機能は無効に設定されています。

■**プレレコーディング　前　録画時間**：イベントが発生した時間の前から録画する時間（0～30秒）

■**ポストレコーディング　後　録画時間**：エベントが発生した後の録画する時間（0～120秒）

■**ウォーターマーク**：録画データにウォーターマークを組み込みます。これはバックアップビューアソフトで確認できます。

5.2.4. イベント

イベントに関する構成を行うことができます。

5.2.4.1. モーション

■**カメラ**：モーション設定をするカメラを選択
■**感度**：モーションの感度の調整(0～9)
　数値が高いほどより高感度な検出
■**アラーム出力**：モーションが検出されたときに
　発せられるアラーム出力の番号
■**録画チャンネル**：モーションが検出されたとき
　に録画するチャンネル
　を選択します。
■**ブザー**：モーションが検出されたときのブザー
　のON / OFFの設定
■**夜間モード**：昼間と夜間で別の感度を設定してください。このオプションは、夜間のカメラのノイズに
　よる誤ったモーションイベントを回避するために使用することができます。
■**全体指定**：すべての領域（8x8グリッド）がモーション検出有効になります。
■**全体クリア**：すべての領域（8x8のグリッド）がモーション検出無効になります。

5.2.4.2. センサー

■**タイプ**：NO（ノーマルオープン）/ NC（ノーマルクローズ）を選択
■**録画**：センサーが働いたときに録画されるカメラのチャンネルを選択
■**アラーム出力**：センサーが働いたときに動作するアラーム出力番号を選択
■**ブザー**：センサーが働いたときのブザーのON / OFFを設定

■**すべて**：すべてのセンサーに同じ設定を適用

5.2.4.3. ビデオロス

■**アラーム出力**：ビデオロスが発生したときに動作するアラーム出力番号を選択します
■**ブザー**：ビデオロスが発生したときのブザーのON / OFFを設定します
■**全体**：すべてのチャンネルに同じ設定を適用します

5.2.4.4. Eメール

DVRはイベントが発生した時にEメールを送信することができます。

■**イベントEメール**：メール通知のために『常時』または『スケジュール』を選択します
■**画像**：イベントが発生したときに画像とテキストを送信する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
■**イベントの種類**：モーション、電源ON、センサー、HDDエラー、ビデオロスからイベントタイプを選択します。
■**送信ID**：DVRは、この名前でEメールを送信します。

■**Eメールアドレス**：2つまでEメールアドレスを入力できます。
例：anyone@gmail.com

■**セキュアタイプ**
-通常： 標準のメール転送、ポート21-SSL（485）： セキュアな電子メール転送、ポート485-TLS（587）： セキュアな電子メール転送、ポート587

■**サーバー名**：SSLまたはTLSを使用する場合にはSMTPサーバー名を入力してください。
■**ID/パスワード**：SSLまたはTLSを使用する場合にはSMTPサーバーのID/パスワードを入力してください。

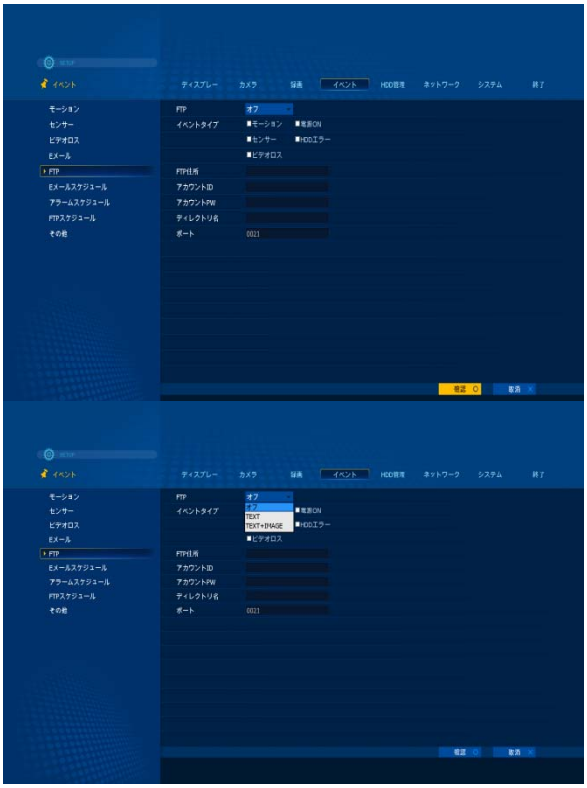
◆ **注：通常SMTPサーバーの情報は、POP3/SMTP、IMAP/SMTPの設定メニューで確認することができます。確認できない場合は、サーバー管理者に問い合わせる必要があります。**

例： Gmailにアカウントをお持ちの場合には、サーバ名に smtp.gmail.com と入力し、GmailのIDおよびパスワードを入力してください。『通常』が設定されている場合には、サーバー名とID/パスワードを入力する必要はありません。

例：Eメールメッセージ

From : DVR@dvr.com
To : anyone@gmail.com
Sent: Friday, July 24, 2011 6:11 PM
Subject: EVENT MESSAGE
[2011/07/24 18:10:11] [testdvr/192.168.001.121] MOTION ch 1 ON

5.2.4.5. FTP



DVRはイベントが発生したときテキストと画像を指定のFTPサーバに送信することができます。

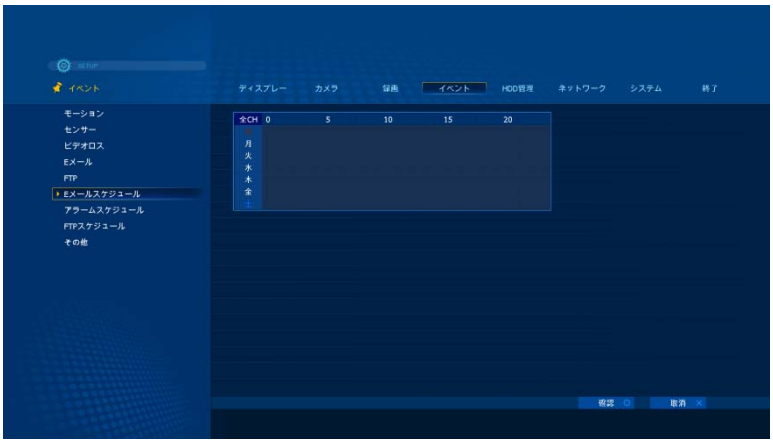
■**FTP**：『オフ』、『TEXT』または『TEXT+IMAGE』を選択してください。
■**イベントの種類**：FTPに送信するイベントタイプを選択してください。
■**FTPアドレス**：FTPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。

■**アカウントID**：FTPサーバーにアクセスするためのIDを入力してください。
■**アカウントPW**：FTPサーバにアクセスするためのパスワードを入力してください。

■

ディレクトリ名：転送されたテキストまたは画像を保存するFTPサーバのディレクトリ
■**ポート番号**：FTP転送を使用するポート番号を入力してください。通常はポート21を使用しています。

5.2.4.6. Eメール/アラーム/FTP　スケジュール



イベントのEメール転送、アラーム出力、
FTP転送のスケジュールを作成することができます。
スケジュールは日単位、時間単位で設定することができます。
曜日と時刻をチェックした期間だけEメールが送信され、アラーム出力が働き、FTP転送が動作します。

■Eメールスケジュール：曜日と時間を選択してください。(マウスのドラッグ/ドロップ可)

■アラーム出力スケジュール：曜日と時間を選択してください。(マウスのドラッグ/ドロップ可)

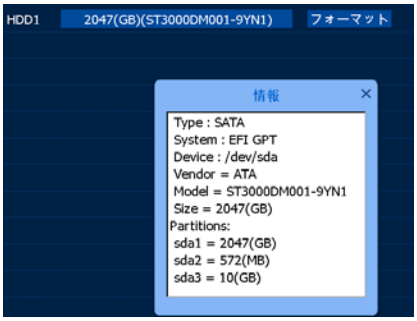
■FTPスケジュール：曜日と時間を選択してください。(マウスのドラッグ/ドロップ可)

5.2.4.7. その他

■イベント持続時間：アラーム出力の継続時間
■イベントポップアップ：イベントが発生したチャンネルがフルスクリーンモードでポップアップします。
■ポップアップ出力
メイン：メインモニタにポップアップ表示スポット：スポットモニタにポップアップ表示
■ポップアップ切替時間：ポップアップ表示が継続する時間

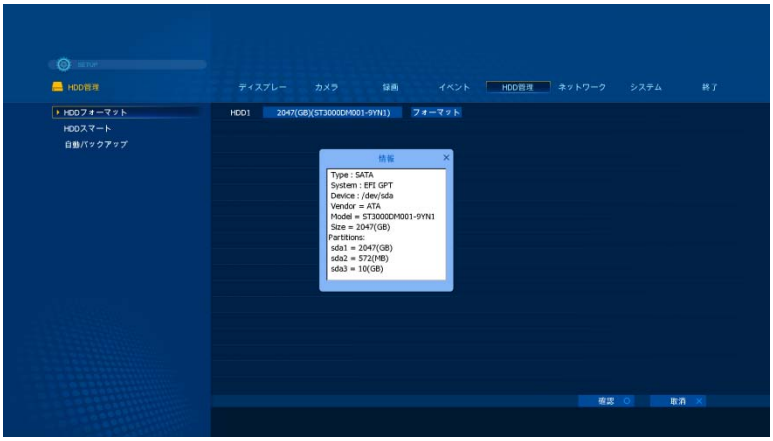
◆□注：イベントは別のイベントの継続時間の間に発生した場合、継続時間は無視され新しいイベントがポップアップ表示されます

5.2.5. HDD管理（ハードディスクの管理）



5.2.5.1. HDDフォーマット

HDDを取り付けた時は、正確に録画するためにHDDをフォーマットする必要があります。



■フォーマットするHDDを選択し、『フォーマット』ボタンをクリックしてください。
■フォーマットが完了すると、DVRは自動的に再起動します。
■フォーマットにかかる時間はHDDのサイズにより異なります。通常、フォーマット完了までに数分かかります。

5.2.5.2. HDDスマート

DVRではHDDの温度をチェックすることができます。
温度が一定以上に到達した場合、DVRは温度上昇をユーザーに通知することができます。

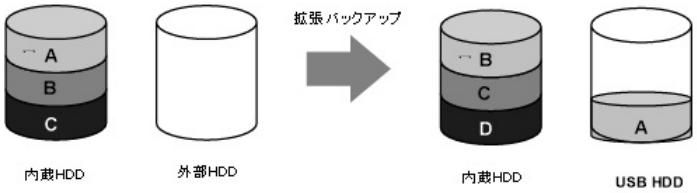
■スマートでONを選択してください。
■温度のしきい値（警告温度）
HDDの温度の限界を設定します。
■検査サイクル（同期）
HDDの温度をチェックする間隔を設定します。
オプション：10分毎、1時間、1日
■検査時間
検査サイクルに"1日"を選択した場合に、HDDの温度をチェックする時間を設定してください。
■アラーム出力
HDDの温度が設定した温度しきい値を超えときに動作するアラーム出力ポートを選択してください。
■ブザー：HDDの温度が設定した温度しきい値を超えときのブザー音のON/OFFを選択してください。

5.2.5.3. 自動バックアップ

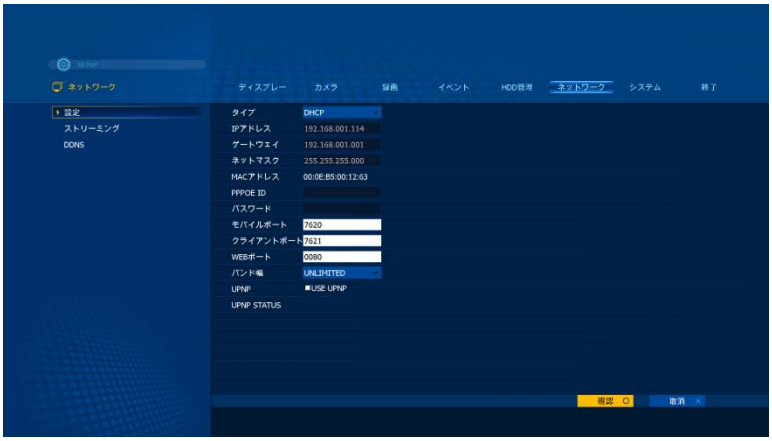
1個のUSB HDDを自動バックアップ機能のために装着させることができます。
■タイプ
拡張（EXTEND）： 内蔵HDDがいっぱいになると、HDDは上書きを開始し、古いデータが消去されます。
そして同時にUSB HDDに保存されます。
ミラー（MIRROR）： 内蔵HDDの同じデータがUSB HDDに記録されます。

内蔵HDD:　一対の内蔵HDDは同じデータを保管します。この機能を使用するには、HDDの数は偶数（2個または4個）でなければなりません。

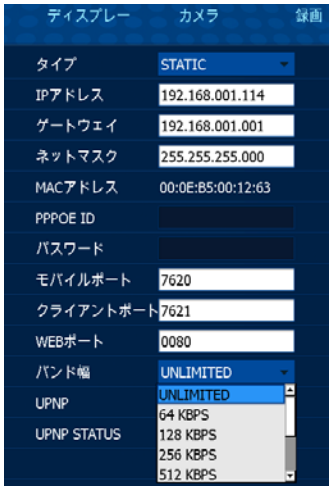
■USB HDDがDVRに接続されるとHDDのステータスが表示されます。『表示』を選択することにより録画ファイルのリストを確認することができます



5.2.6. ネットワーク



5.2.6.1. 設定



■**タイプ**：STATIC、DHCP、ADSL（PPPOE）からネットワークのタイプを選択してください。

■**DHCP**：DVRは自動的にIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを取得します。

■**STATIC**：お使いのネットワーク環境をチェックしてIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを手動で入力してください。

■**ADSL**：PPPOE IDとパスワードを入力してください。
この情報を取得するためには、ISPプロバイダにお問い合わせください。

■**モバイルポート**：JPEG転送に使用されるポート
スマートフォンのアプリケーションは、このポートを使用します。

■**クライアントポート**：CMSが使用するポート

■**ウェブポート**：Webビューアが使用するポート

■**帯域幅**：無制限の帯域幅まで制御

■**UPNP**：ユニバーサルプラグ＆プレイ。ルーターでポートフォワーディングを必要としない場合には
チェックボックスをオンにします
◆ルーター自体がUPNP機能をサポートする必要があります

5.2.6.2. ストリーム

デュアルストリームが有効な場合は、DVRは、解像度、画質、フレームレートの異なるネットワークストリームを送信します。
デュアルストリームがOFFに設定されている場合は、DVRは、録画パラメーターで設定された解像度、画質、フレームレートによりストリームを送信します。
HD-SDIビデオの入力解像度（1080Pまたは720P）に応じて、1080Pは960*540および480* 270のネットワーク解像度をサポートしています。720Pは640*360および320*360のネットワーク解像度をサポートしています。

解像度	連続	フレーム
960*540	基本	1, 2,
480*270	普通	4, 8,
640*360	高	15, 30
320*180	最高	

5.2.6.3. DDNS

DVRは、DDNS接続のためにDDNSCCTV.COM、DYNDNS.COM、NO-IP.COMをサポートしています。
他が無料のパブリックなDDNSサーバーであるため、DVRメーカーによって直接運営されているDDNS CCTV.COMの利用をお勧めします

■**サーバー**：DDNSサーバーを選択してください。
■**ユーザーID**：DDNSサーバのアカウントIDを入
力してください。
■**パスワード**：DDNSサーバのアカウントのパス
ワードを入力してください。
■**ホスト名**：DDNSサーバで作成したドメイン（ホ
スト）名を入力してください。
■**接続**：DDNSサーバーへの接続を確認するにはこのボタンをクリックしてください。接続がOKであれば、『DDNS　OK』のステータス情報
が表示されます。

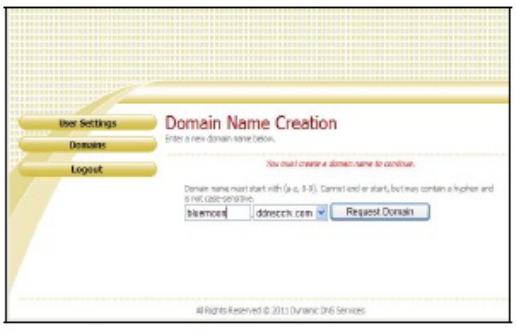
◆　注:DDNS機能を使用するには、まず、www.ddnscctv.com 、www.dyndns.com 、 www.no-ip.com のいずれかにPCでアクセスし、アカウントを作成して、ドメイン(ホスト)名を作る必要があります。

◆　注:DDNS接続に失敗した場合は、すべての情報が正しく入力されているかどうか確認してください。特にユーザーIDとパスワードを確認してください。次にネットワーク環境を確認してください。

◆DDNNCCTVへ登録する方法

■DDNSのサービスを利用するにはPCのブラウザで http://ddnscctv.com にアクセスしてください。
これはDVR上で設定をする前におこなう必要があります。

■アカウントをお持ちでいない場合は、『Registration』ボタンをクリックしてください。
■Eメールアドレス、パスワード、氏名等を入力し、『Submit』ボタンをクリックしてください。
■作成したいドメイン名を入力し『Request　Domain』ボタンをクリックしてください。
■ドメイン名は、アルファベット、数字、記号の組み合わせで作成することができます。
（ドメイン名の最初の文字に記号を使用することはできません。）
■ドメイン名が正常に登録されたら『Logout』ボタンをクリックします。
■登録したEメールとパスワードでログインできます。



◆DVRのDDNSの設定
①『セットアップ』→『ネットワーク』→『DDNS』へメニューを移動します。
②DDNSCCTV.COMを選択してください。(3つのオプション:DDNSCCTV.COM、NO-IP.COM、DYNDNS.COM)
③ http://ddnscctv.com 上のユーザーIDとパスワードで登録したEメールアドレスとパスワードを入力してください。
④http://ddnscctv.com 上のホスト名で登録したドメイン名を入力してください。

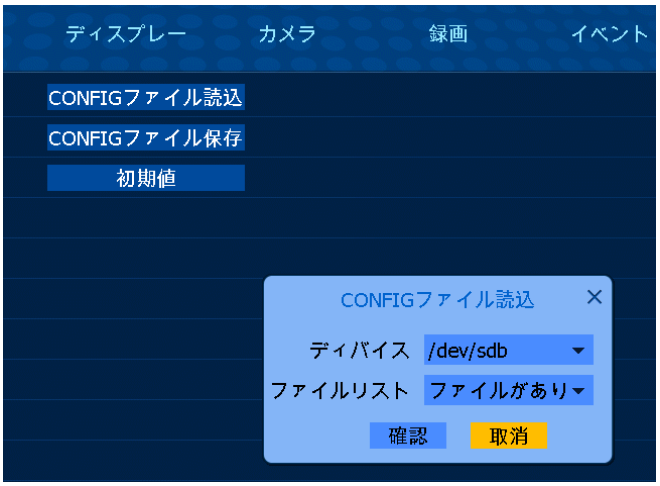
◆DDNSを使用する
Webブラウザで登録したドメイン名を入力してください。
例:http://abc.ddnscctv.com
WAN接続の場合は、DVRのWebポート/クライアントポートは、ポートフォワーディングされている必要があります。この場合、『:』(コロン)とWebポートを入力してください。
例:DVRでWebポートが1000と設定されている場合は、 http://abc.ddnscctv.com:1000

5.2.7. システム

『時間』、『ユーザー』等の設定を行うことができます。
ソフトウェアのバージョンを確認することができ、アップグレードを行うことができます。

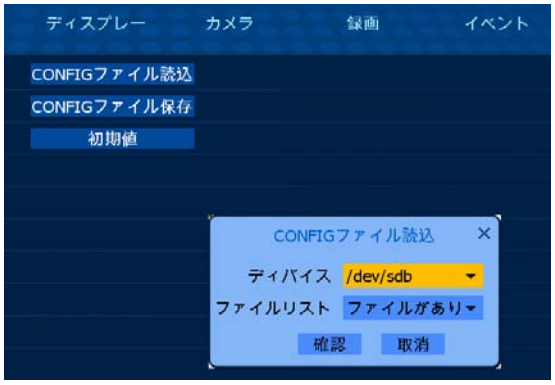
5.2.7.1. Configファイル管理(設定値のインポート/エクスポート)

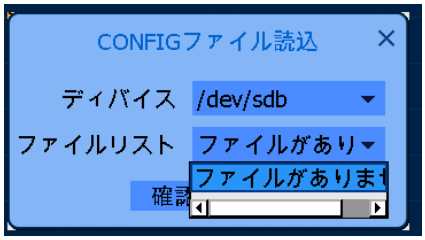
DVRのシステムの設定値は、他にコピーすることができます。
Configファイル読み込み(設定値をインポート)する時、あるいはConfigファイルの保存(設定値をエクスポート)するには、DVRのUSBポートにUSBデバイスを挿入してください。
構成のインポートおよびエクスポートによって同じ設定値を持つ複数のDVRを作ることができます。



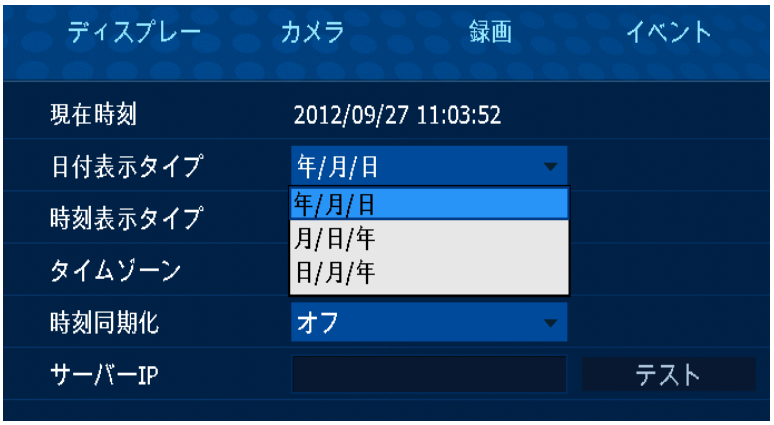
■Configファイル読み込み
USBデバイスから保存された設定値を取り込み(ロード)します。
■Configファイル保存
別のDVRに設定値をコピーするためにUSBデバイスに設定を保存します。

■デフォルト:工場出荷時のデフォルト値にすべての設定値を戻します。



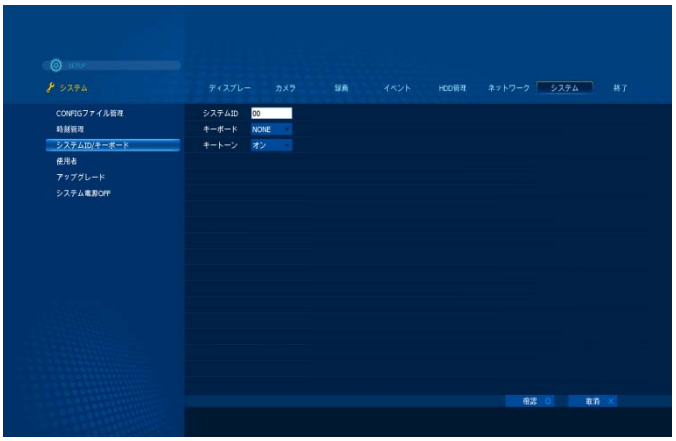


5.2.7.2. 時刻管理



■**日付の表示形式**：日付の表示形式を選択してください。
　年/月/日、月/日/年、日/月/年
■**時刻の表示タイプ**：24時間またはAM/PM
■**タイムゾーン**：地域のタイムゾーンを選択してください。
■**時刻の同期**：オンの場合は、システム時刻が選択されたタイムサーバと同期するようになります。
■**サーバーのIP**：タイムサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。
タイムサーバとの接続がOKであるかどうか確認するには『テスト』をクリックしてください。
DVRは1時間毎にタイムサーバにアクセスし正しい時刻をチェックします。
◆例：　time.bora.net（OK）、
http://time.bora.net（X）
■**時刻の変更**：手動で時刻を変更します。

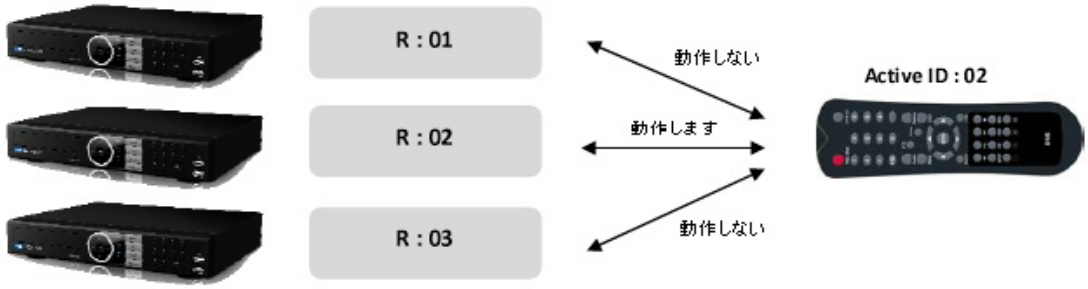
5.2.7.3. システムID/キーボード（入力機器）



■**システム-ID**：DVRに登録したい番号を入力してください。
■**キーボード**：DVRに制御用キーボードを接続することができます。
■**キートーン**：ONに設定されている場合はボタンが押されるたびにビープ音が鳴ります。

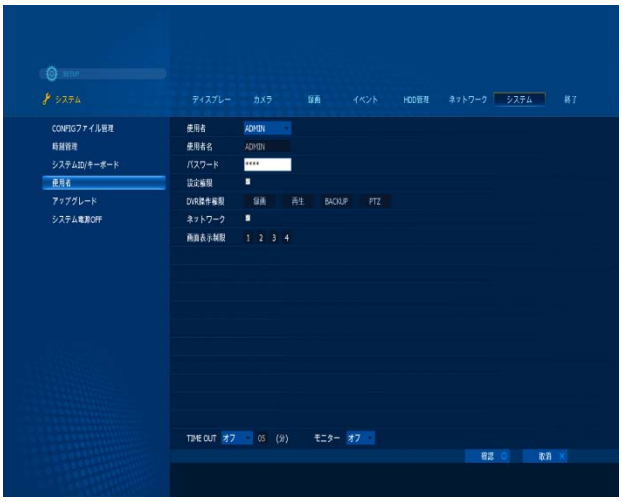
◆システム-IDのセットアップの方法
■システム-IDは、システムがリモコンのキーを受け付けるかどうかを示します。
■システム-IDは、ユーザーが1台のリモコンで複数のシステムを操作する時に使用されます。
　システム-IDは、システム-IDが0（ゼロ）以外である場合に表示されます。
■リモコンのDVR-IDボタンを使用して、リモコンをシステム-IDと一致させることができます。システム-IDが00の場合、システム-IDは表示されず、システムはリモコンからキーを受け付けます。
■システム-IDの色が黄色の場合、システムはリモコンのキー入力を受け付けます。

■システム-IDとリモコンのID(Active-ID)が一致していない場合、システム-IDの色が赤になり、システムはリモコンのキー入力を受け付けません。(ビープ音は鳴りません)
■リモコンでシステム-IDと一致させる方法
(1)リモコンのDVR-IDボタンを押します。(短いビープ音が2回鳴ります。)
(2)次に、希望するシステム-IDを2個の数字ボタン(例:02または03または01)を使用して入力します。



5.2.7.4. ユーザー管理(使用者)

2つの固定ユーザー ADMIN、NETUSER があります。これらの名前とアクセス権限を変更することはできません。さらに20ユーザーまで作成し、各ユーザーに異なるアクセス権限を与えることができます。

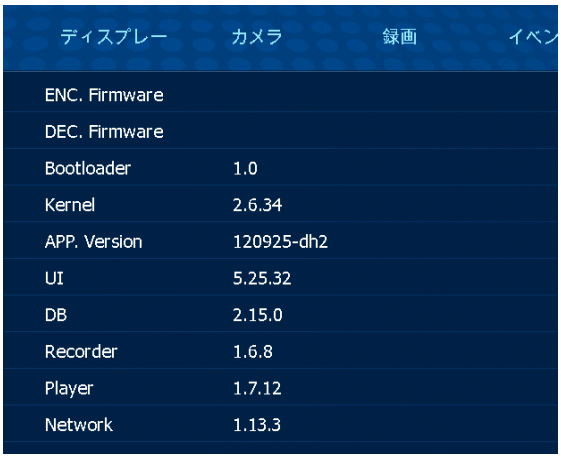


■**ユーザー** -2つの変更できないユーザーID(ADMIN、NETUSER)があります。新しいユーザーを作成または既存のユーザーの設定を変更するには、矢印ボタンをクリックします。
■**パスワード** - 各ユーザの初期パスワードは'0000 'に設定されています。新しいユーザーを作成するときは、新しいパスワードを入力する必要があり、新たに入力されたパスワードを忘れないようにしてください。最大数の8桁までの数字(例:123456)をパスワードに使用することができます
■**セットアップ(設定権限)** - ユーザーにセットアップメニューに入ることを許可する場合はこのボックスをチェックしてください。
■**DVRの機能(操作権限)** - DVRの機能であるREC(録画設定)、再生(検索)、バックアップおよびPTZ制御の権限を各ユーザーに与える場合にはDVRの機能ボタン(DVR FUNCTION)をクリックしてください。
■**ネットワーク** - ユーザーにネットワーク(Web、CMSまたはモバイル)を介してDVRにアクセスする権限を与える場合には、このボックスをチェックしてください。

■**非表示チャンネル**(COVERT CH) – 各ユーザーによる秘密チャネルを選択します。そのユーザーはマークされたチャンネルを見ることができます。
■**タイムアウト** – これがONに設定されている場合、任意の入力から設定された時間経過後にログインウィンドウが再表示されます。ログアウトしたい場合は、メニューに移動しログアウトを選択する必要があります。
■**モニター** – 各ユーザに監視権限を与えるためには、最初にONを選択します。次に、ユーザーがアクセスできる監視チャンネルを CHボタンをクリックして選択します。

5.2.7.5. アップグレード

ソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。そしてファームウェアをアップグレードすることができます。
■**USBアップグレード**:USBデバイスを使用してアップグレードを行います。
■**ネットワークアップグレード**:ネットワーク経由でアップグレードを行います。



◆USBアップグレード

アップグレードウィンドウでUSBアップグレードを選択してください。

①USBメモリスティックに提供されたファームウェアのファイルをコピーしてください。

②USBポートにファームウェアをコピーしたUSBメモリを挿入してください。

③ファームウェアをアップグレードするために『アップグレード』ボタンを入力してください。入力すると小さいウィンドウが表示されます。

④『OK』アイコンをクリックしてください。確認のためのダイアログメッセージがポップアップされます。

⑤『OK』をクリックしてください。またはキャンセルするときは『キャンセル』をクリックしてください。

⑥アップグレードには数分かかる場合があります。アップグレードが終了するとDVRは自動的に再起動します。

◆ネットワークアップグレード

アップグレードウィンドウでネットワークアップグレードを選択してください。

①サーバーのIPアドレスとファイル名が正しいかどうかを確認してください。
表示された情報が誤っている場合、テキスト入力ダイアログボックスによってサーバーのIPアドレスとファイル名を正しく入力し、ENTERキーを押してください。

メモ：サーバーのIPアドレスとファイル名の情報は、お客様のサプライヤーを介してご確認してください。

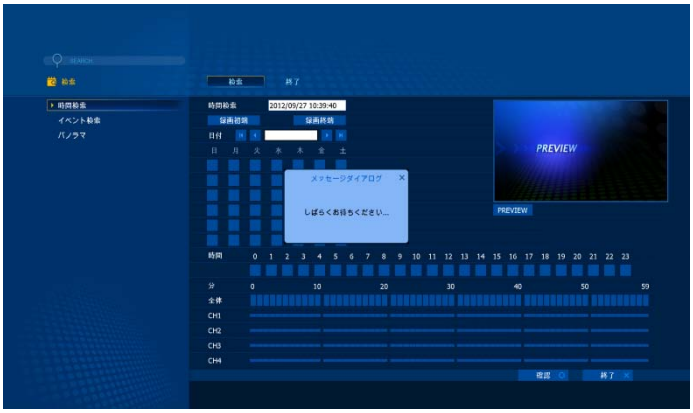
②『OK』を選択し、ENTERボタンを押してアップグレードを開始してください。

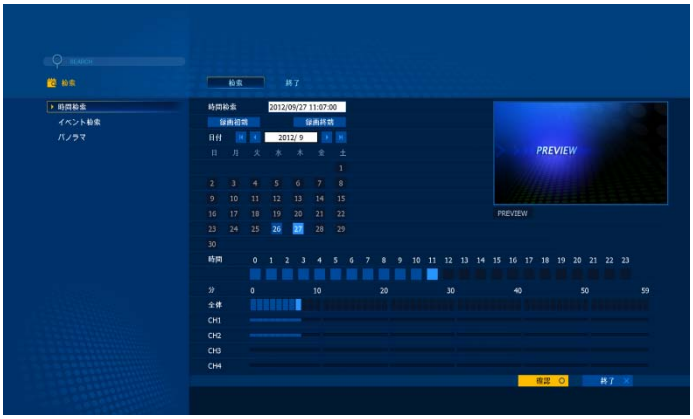
アップグレードが完了するとシステムが自動的に再起動します。

5.2.7.6. DVRの電源を切る（システム電源OFF）

『DVRの電源を切る』を選択するとDVRはシャットダウンします。
完全にシャットダウンするには背面にある電源スイッチをOFFにしてください。

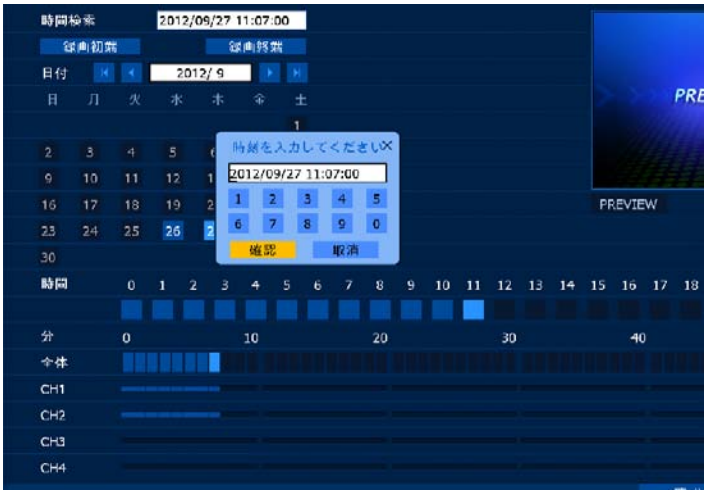
5.3. 検索（Seach）





カレンダー/時間バーを使用した時間による検索およびイベントログを使用したイベント検索を使用することができます。

5.3.1. 時間検索



■カレンダーで日付を選択します。
■時間バーで時刻と分を選択します。
■『OK』ボタンをクリックすると選択された時間で再生が開始します。
■最古（初端）のデータ：最古の録画データを検索します。
■最新（終端）のデータ：最新の録画データを検索します。
◆ **注**： 録画データの存在する日付は黄色で表示され、録画データの存在する時刻/分は明るい青
で表示されます。

5.3.2. イベント検索

■ イベントログを取得するために日付と時間を選択してください。
■ イベントログを取得するためにチャンネル(CH)を選択してください。
■ イベントログを取得するためにイベントの種類を選択してください。
■ 検索ボタンを選択してください。イベントログのリストが書き込まれます。
■ **<PGUP、 >PGDN**:リストのページアップ/ページダウン
■ **<<FIRST、 LAST>>**:リストの最初のページまたはリストの最後のページに移動します。
■ リスト上のイベントログをクリックすると、DVRは、検索モードでイベントが発生した時刻に移動します。

5.3.3. 検索モード

DVRが検索モードにあるときは、再生、一時停止、巻き戻し、早送り(X2、X4、X8、X32、X128)をすることができます。

5.4. その他の機能

PTZ、バックアップ、ログの閲覧と音声の設定を行うことができます。

5.4.1. PTZ

■リモコンの P/T ボタンを押すか、メインメニューでPTZを選択すると、画面がフルスクリーンモードに変わりPTZカメラを制御することができます。
■PTZウィンドウで『ADVANCE』ボタンを押すと、PTZ-ADVANCEウィンドウがポップアップします。

5.4.1.1. PTZの基本

■ ◀▶▲▼ ボタンを押すとカメラが左右にパンしまたは上下にチルトします。
■リモコンの◀◀ / ▶▶ ボタン、SEARCH/LOGボタンまたは(+)、(-)ボタンをクリックするとカメラがズームイン/アウトします。
■リモコンの数字ボタンを押すとカメラが切り替わります。

5.4.1.2. PTZの高度な設定(PTZ　ADVANCE)

■フォーカス

+:フォーカスイン

−:フォーカスアウト

AUTO:オートフォーカスモード

■IRIS

+:アイリスオープン

−:アイリスクローズ

AUTO:オートアイリスモード

■スピード

+:制御速度が向上します

−:制御速度が低下します

■プリセット

特定のプリセットポジションに移動したい場合は、"GO"ボタンを選択してください。

プリセットポジションをスキャンしたい場合は、"SCAN"ボタンを選択してください。

◆　注:

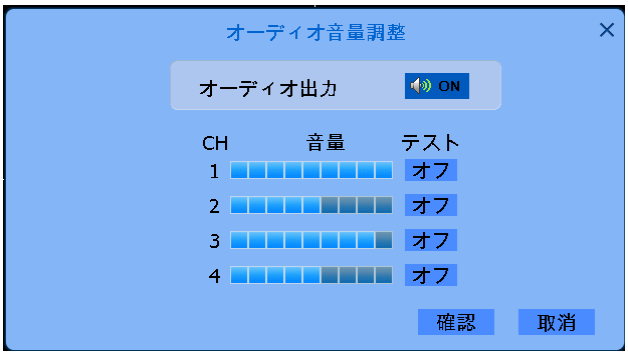
- **プリセットポジションはプリセットメニュー[メニュー → セットアップ → カメラ → プリセット]で設定することができます。**
- **スキャンリストはスキャンポイントメニュー[メニュー → セットアップ → カメラ → スキャンポイント]で設定することができます。**

■OSDメニュー

カメラ自体がOSD機能を持っている場合においてOSDメニューのアイコンをクリックすると、カメラのOSDに従ってOSDが表示されます。カメラがOSDをサポートしていない場合には、OSDメニューは動作しません。

5.4.2. オーディオ

この機能を使用する前に、音声の入出力機器が正しく取り付けられていることを確認してください。



■音声出力は1CHのフルスクリーンモードでの

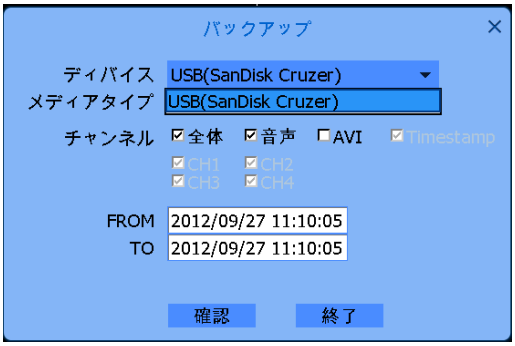
み動作します

■『TEST』の『ON/OFF』ボタンでオーディオのテ

ストを行なうことができます。

5.4.3. バックアップ

録画されたデータは、バックアップ機能を使用してUSBデバイスやCD/DVDに保存することができます。最初にUSBデバイスまたはCD/DVDを挿入してください。次にメインメニューからバックアップメニューを選択するか、リモコンのバックアップボタンを押してください。下記のポップアップウインドウが表示されます。

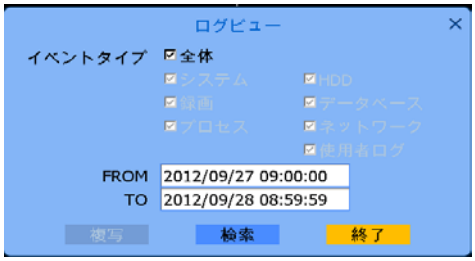


■**デバイス**：バックアップ用のデバイスを選択
■**チャンネル**：バックアップするチャンネルの選択
■**AVIに変換（To AVI）**：データはAVI形式でバックアップされます。
〞AVIに変換〞をチェックしない場合、データはPS形式でバックアップされます。
そしてバックアップ閲覧プログラムが自動的にコピーされます。
■**タイムスタンプ**：AVIファイルにタイムスタンプを挿入します。

■**バックアップの開始（FROM）**：バックアップした い最初のデータ（時刻で指定）
■**バックアップの終了（TO）**：バックアップしたい最後のデータ（時刻で指定）

5.4.4. ログの表示

システムログの状態を確認し、またはPC上でチェックするためにUSBメモリに保存することができます。
■**イベントの種類**：ログを確認したいイベントの種類を選択してください。
■**開始時刻（FROM）**：いつからのログを確認したいかを時刻を指定して入力してください。
■**終了時刻（TO）**：いつまでのログを確認したいかを時刻を指定して入力してください。
■**バックアップ**：USBメモリにログデータを保存します。
■**検索**：『検索』ボタンをクリックするとログのリストが表示されます。
■**イベントリスト**：選択されたイベントの種類のログが表示されます。



5.5. OSDをオフにする

『OSD OFF』を選択すると、OSD（アイコンまたは時間）の表示/非表示を切り替えることができます。
詳細は『5.2.1.1. OSD』を参照してください。OSDメニュー[セットアップ → ディスプレイ → OSD]

5.6. 録画

メインメニュー、リモコンまたはフロントパネル上で RECボタンを選択してください。すべてのチャンネルが、以前の録画スケジュールの設定に関係なく録画されます。
この機能は、予期しない事件がオペレーターの誤りで録画されていないチャンネルで発生した場合の録画方法として、あるいは簡単な録画方法として使用できます。
もう一度RECボタンを押すと、DVRは以前の録画スケジュールの設定に戻ります。
例： チャンネル2、3および4が、設定した録画スケジュールによって録画されている状態において、チャンネル1に予期しない事件が発生し録画する必要がある場合、リモコンまたはフロントキーのRECボタンを押せば、すべてのチャンネルが録画されます。

5.7 ログアウト

『LOG OUT』ボタンを選択すると、DVRはログアウト状態になります。
ログアウト状態では、DVRを制御したりDVRの設定変更をすることはできません。再度ログインするためには、リモコンまたはフロントキーのいずれかのボタンを押すか、画面上でマウスのボタンをクリックしてください。
◆ 注: DVRがログアウト状態になると、すべてのチャンネルは、『5.2.7.4.ユーザー管理』の『秘密チャンネル(COVERT CH)』設定に従ってブロックされる可能性があります。
(ユーザー >> モニターがオンになっている場合、すべてのチャネルがログアウト状態で、黒い画面によってブロックされます。)

6.トラブルシューティング

製品の故障が発生した場合、サービスを要求する前に、通常可能な解決策については、以下のリストを確認してください。

1. 製品の電源が入っていない。
電力が十分供給されているかどうかをチェックしてください。

2. 製品が、"Loading" または "Starting UI….")を続けて表示している場合
製品がHDDなしでブートしてはいないかチェックしてください。
製品にHDDがあっても"Loading" または "Starting UI….")の表示が続く場合は、緊急のアップグレードを試すことができます。
付属のCDで工場出荷時のデフォルトを参照してください

3. カメラの映像がモニターに表示されない。
製品の背面パネルのビデオ入力/出力の接続を確認してください。
カメラの状態やカメラの映像/電源ケーブルの接続を確認してください。
メニューでカメラの状態が『SHOW』かどうかを確認してください。

4. オーディオを聞くことができない
DVRの背面パネルにあるオーディオ入力/出力の接続を確認してください。
オーディオはフルスクリーンモードでのみ動作します。

5. リモコンまたはRECボタンで録画を停止することができない
メニューのRECのオプションの連続録画がオフになっていることをチェックしてください。

6. 以前の録画データを見つけることができません。
製品は自動的に上書き機能が動作します。上書き機能とは、HDDがいっぱいになったときに一番古い録画データを削除して上書きします。

7. 製品が外付けUSBデバイスと互換性がありません。
USBメモリースティックが保護(パスワード)機能にあるかどうかを確認してください。USBデバイスの保護機能が作動していると接続できません。

8. ネットワークに接続できません。
ネットワークポート、ID、パスワード等のネットワークのメニュー項目が、正しく設定されているかチェックし、インターネット回線が使用可能であるかどうかチェックしてください。インターネット回線をチェックするには、サービスプロバイダにお問い合わせください。

発生している問題が解決しない場合、または上記に記載されていない場合、サービスセンターまたはお近くの販売店にお問い合わせください。